

1 2月 HUG だより

報提供者：やましろ小児科
小児科医 山城武夫

1 2月のテーマ：ノロウイルス

なんらかの微生物が原因で、嘔吐、下痢、腹痛や発熱などの症状をおこす疾病を感染性胃腸炎と言います。微生物の中には細菌、ウイルス、原虫、寄生虫などがあります。特にウイルス性胃腸炎はロタウイルス、ノロウイルス、アデノウイルスなどがあります。ノロウイルス胃腸炎は秋口から冬場にかけて増加します。ノロウイルスに汚染された食品（特にカキなどの二枚貝）を食べたり、罹患した人の糞便、吐物を手指で触れた（トイレのドアノブ、冷蔵庫のドア）ものを、その手指を口に運んだり、吐物の飛沫感染、汚染された井戸水、消毒不十分の簡易水道水の摂取などで感染します。

感染すると1～2日間の潜伏期間を経て、嘔吐、下痢、腹痛や軽い発熱などの症状が出現します。子どもや乳幼児は水分のバランスが崩れやすく脱水状態になり易いので注意が必要です。これらの症状が1～2日続いた後、治癒し、後遺症も見られません。感染しても軽微で軽い風邪のような症状で終わる場合もあります。

診断は臨床症状や周囲の感染状態、更に、糞便、吐物で「ノロウイルス抗原検査」キットで抗原を、また、リアルタイム PCR 法などで遺伝子を検出する方法があり、糞便中のウイルスの存在を調べることが出来ます。

治療は安静、食事療法、脱水に対する補液です。あまり下痢を止めたり、抗生剤の使用は良くありません。

予防、感染拡大が大切です。予防注射はありません。汚染されやすい二枚貝等は生食を避け、加熱処理をしましょう（食品の中心部が85℃から90℃で90秒以上の加熱）。手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。特にトイレの後、糞便、吐物の処理、おむつ交換後は手袋をしていても石鹸での手洗い、流水でのすすぎと清潔なタオル又はペーパータオルで拭きとることが重要です。ウイルスの性格上アルコール消毒は効果がありません。汚染された調理器具、食器は加熱か次亜塩素酸ナトリウム〔作り方

方は水 1L に花王ハイター又はキッチンハイター25ml（キャップ1杯）、作り置きには飲料に、直接触れないように、遮光してください〕を使用しましょう。くれぐれも直接手に触れないように使用しましょう。食器類は消毒後に流水、お湯で洗い流しましょう。

●六つのポーズ●

